

2021年5月12日

各 位

会 社 名 ミナトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
 (コード：6862、東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
 (TEL 03-5847-2030)
<https://www.minato.co.jp/>

2021年3月期通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2020年8月28日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 180	百万円 120	百万円 350	円 銭 47.52
当期実績 (B)	15,920	220	199	430	56.78
増減額 (B - A)	920	40	79	80	—
増減率 (%)	6.1	22.3	66.4	23.1	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	12,077	305	301	279	37.61

2. 差異が生じた理由

2021年3月期におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が継続的であったものの、2020年8月に連結子会社化した株式会社プリンストンが手がけるテレワークソリューション事業が堅調に推移したほか、当第4四半期連結会計期間におきまして、デジタルデバイス周辺機器事業におけるGIGAスクール関連製品の受注やゲーミング関連製品の販売等が好調に推移しました。加えて、メモリーモジュール事業においても、今年に入ってから半導体メモリー価格の上昇に伴い、主要製品である産業用途向けDIMMやSSDの販売が好調に推移したことや、テレワーク需要としての個人向けPC用途向けメモリーモジュールの販売も堅調でした。

また、当第4四半期連結会計期間における為替変動により、当社グループが保有する外貨建資産価値が増加したことから、第3四半期連結累計期間までに計上していた為替差損が縮小しました。

これらの結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を上回りました。

以 上